

中野駅新北口駅前エリアの市街地再開発事業と都市基盤整備について

中野駅新北口駅前エリアの再整備に係る市街地再開発事業及び都市基盤整備について、次のとおり報告する。

1. 拠点施設のあり方について

区としては、拠点施設の更なるにぎわいの創出や魅力の向上等につながる施設のあり方として、拠点施設に必要な機能を以下の三点と整理していた。現在の検討状況、施行予定者との調整状況については、以下のとおりである。（別紙1イメージ図参考）

○拠点施設の導入機能について

① シビックプライドの醸成（中野サンプラザのDNAの継承・発展）

- ・多目的ホール
 - 新たな「文化の聖地」としてのブランドを形成する最大収容人員7000人規模の多目的ホールを設置する。
- ・展望施設（レストラン・屋外空間含む）
 - 高層階（約250m）に「サンプラザのDNAを継承するハレの日使いもできる展望レストラン」「東京西郊、唯一無二の眺望を楽しむ屋外テラス」を含む展望施設を設置する。
- ・バンケット、コンベンション
 - 区民や企業などの交流、会合の場として利用できるバンケット、コンベンション機能を有する施設を設置する。

② 子育て先進区の実現（親子が楽しめる機会と空間の創出）

- ・子どもの屋内遊び場
 - 低層部の商業施設部分に子育て世帯が安全・安心に利用できる子供の遊び場（屋内施設）、高層階に親子で眺望を楽しみながら過ごせる展望施設を設置する。
- ・子育て世帯向け商業施設
 - 低層部の商業施設内に、将来のニーズやトレンドに応じテナント誘致を検討する。
- ・子育て支援施設
 - 一時預かりサービスや多様な教育コンテンツを提供する子育て支援施設を設置する。

③ 文化・芸術等発信拠点の形成（区民や来街者が文化・芸術に触れ、活動する機会の創出）

- ・文化・芸術等発信拠点となる発表の場
 - 大ホール、バンケット、エンタメ機能を有するレストランに加え、広場やデッキを活用し、様々な発信ができる場所を整備する。
- ・インフォメーション（観光案内、区政情報等）機能
 - 展望フロア、ロビーなどに、インフォメーション機能の設置を検討するとともに、デジタルサイネージ等で情報発信を行う。

2. 施設計画の概要について

本事業により新北口駅前エリアで実現する機能及び地域貢献については別紙2のとおり。

3. 新北口駅前エリアの都市基盤整備について

1) 中野駅周辺の歩行者ネットワークについて

① 歩行者デッキについて

本再開発事業により整備する周辺地区につながるデッキについては、区が所有する公共施設として位置付け、整備及び日常維持管理については事業者側で行うことで、整理・調整を進めている。

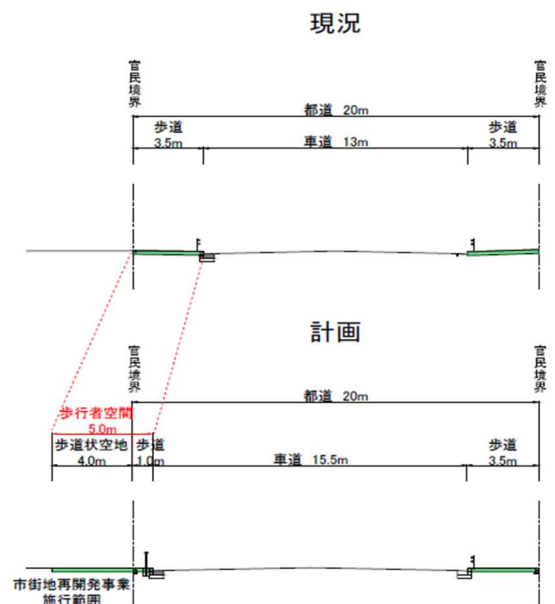
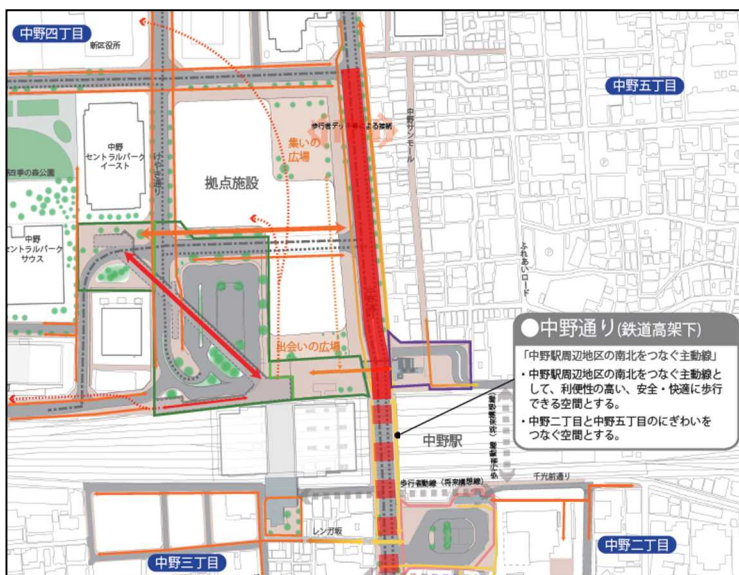
区が所有する公共施設とすることで、安全・快適に歩行できる周辺地区と繋がる回遊性の高い歩行者ネットワーク機能を有するデッキについて、周辺地区のまちづくりに合わせた管理を適切に行う。

② 中野通りについて

中野通りと JR 中央線により分断されている中野駅周辺各地区の回遊性を高め、にぎわいの活性化を図るため、以下の方向で検討する。

- ・都道としての広域交通機能に加え、区として中野駅周辺の各地区・広場を縦断的につなぐネットワークを構築し、歩道等を広場と一体的に管理を行うなど、歩行者利便性の高い、安全・快適な空間とする。
- ・拠点施設と隣接する中野通りの西側歩道（現在幅員 3.5m）について、隣接する民間施設敷地内の歩道状空地と一体的な管理を行うことで幅員 5m の歩行空間を確保する。

これらの実現のため、中野通りの一部について、道路法に基づき区が管理することについて、調整していく。



2) 都市計画駐車場について

再開発事業により拠点施設内に整備する都市計画駐車場（地下荷捌き通路含む）についても、区の所有とし、整備・日常維持管理は事業者側で行うことで、整理・調整を進めている。

公共性の高い都市計画駐車場を区が所有することで、利便性の高い施設計画となるよう協議を進めるとともに、中野五丁目への荷捌き対策について中野五丁目まちづくりと連携して取り組む。

4. 今後の予定

令和5年 11月

令和6年度以降

都市計画審議会への諮問

事業計画認可（東京都）

権利変換計画認可（東京都）、工事着手



その他

- ・子育て世帯向け商業施設等、低層部の商業施設内に、将来のニーズやトレンドに応じテナント誘致を検討
- ・展望フロア、ロビーなどに、インフォメーション（観光案内、区政情報等）機能の設置を検討

■計画概要

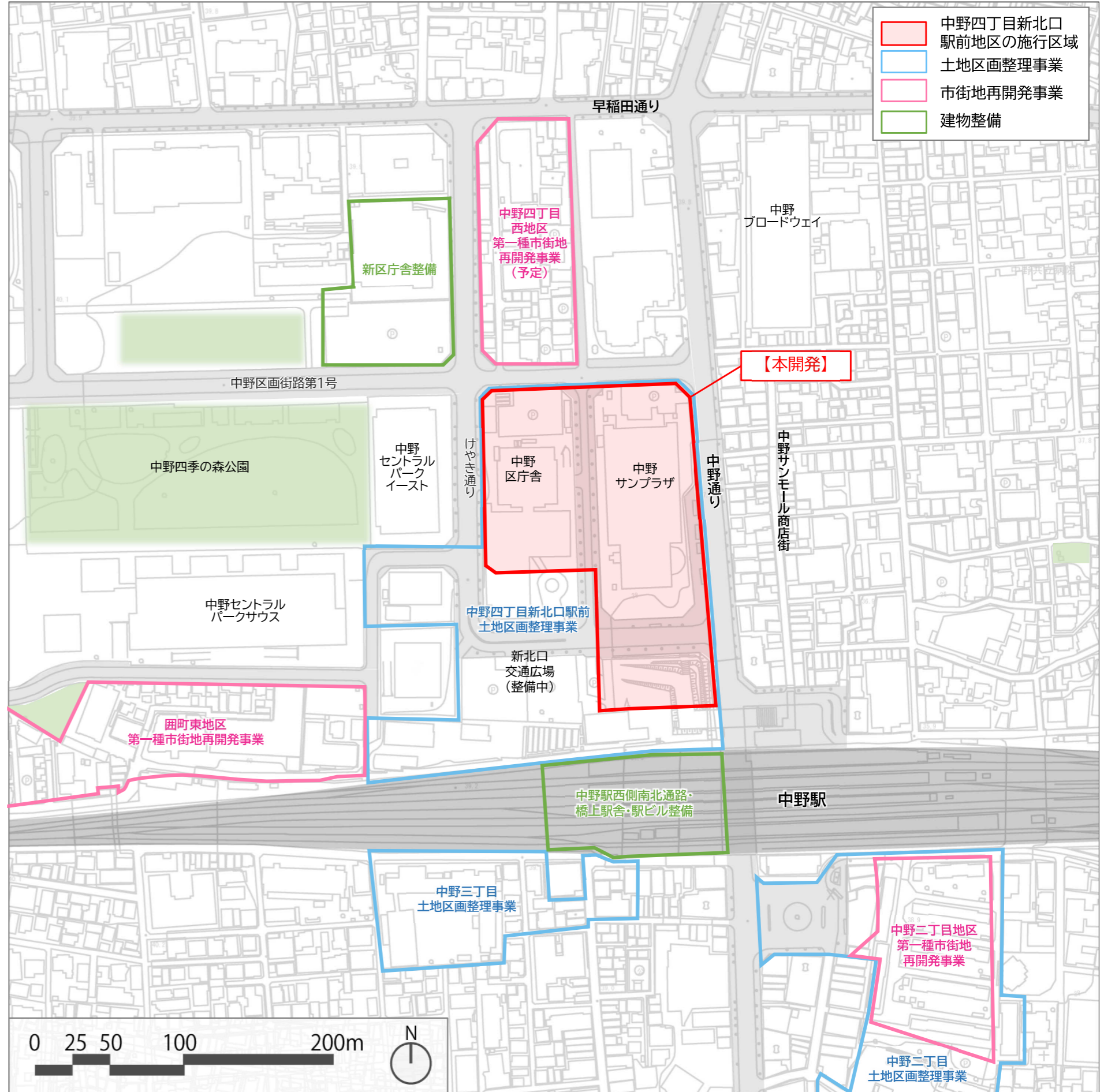
計画概要	内容
地域/地区	商業地域/ 防火地域/中野四丁目新北口地区
敷地面積	約 23,460 m ²
建築面積	約 18,800 m ²
延べ面積	約 298,000 m ²
容積率/指定容積率	約 1,000% / 600%
基準建蔽率	80%
主要用途	事務所、住宅、店舗、ホテル、ホール、駐車場等
建築基準法 高さ※	約 250 m (最高高さ※:約 262 m)

※建物高さはTP+39.5mからの数値を示しており平均地盤面からの高さとは異なります。

■イメージパース (本開発の北東から望む)



■配置図



■上位計画の方針

都 | 都市づくりのグランドデザイン | H29.9
中枢広域拠点地域：中野

- ・街区再編や土地の高度利用が進み、商業、業務、教育、文化・交流、居住、医療、防災などの多様な機能が集積し、**中枢業務機能を支える利便性の高い拠点**が形成
- ・都市基盤整備により回遊性が高まり、**サブカルチャー等の個性的な商業施設や独自の文化を生かした、にぎわいや活力のあふれる市街地**が形成

区 | 中野区基本計画 | R4.6
**中野駅周辺：
 新たな活力とにぎわいのシンボル**

- ・区全体を持続可能な活力あるまちへとけん引するとともに、東京 23区 の西部における**新たな活力とにぎわいのシンボル**として、世界に発信

区 | 中野区都市計画マスタープラン | R4.6
広域中心拠点：中野駅周辺

- ・多様な都市機能の集積、交通結節点の整備を推進することにより、まちの利便性・回遊性の向上を図り、**東京の新たなエネルギーを生み出す活動拠点**に育成・整備
- ・新北口駅前エリアで整備する大規模ホールにおいて、**中野のシンボルとなる新たな文化・芸術等発信拠点の形成**

■中野駅周辺の将来像と特徴 | 中野駅周辺まちづくりグランドデザインVer.3 (H24.6) 等

「持続可能な活力あるまち」へとけん引する中野区を中心拠点として、多様な都市機能が集約された「東京の新たなエネルギーを生み出す活動拠点」

○中野四丁目：先端的な都市機能と豊かな緑



防災など多様な公園機能
 (中野四季の都市)



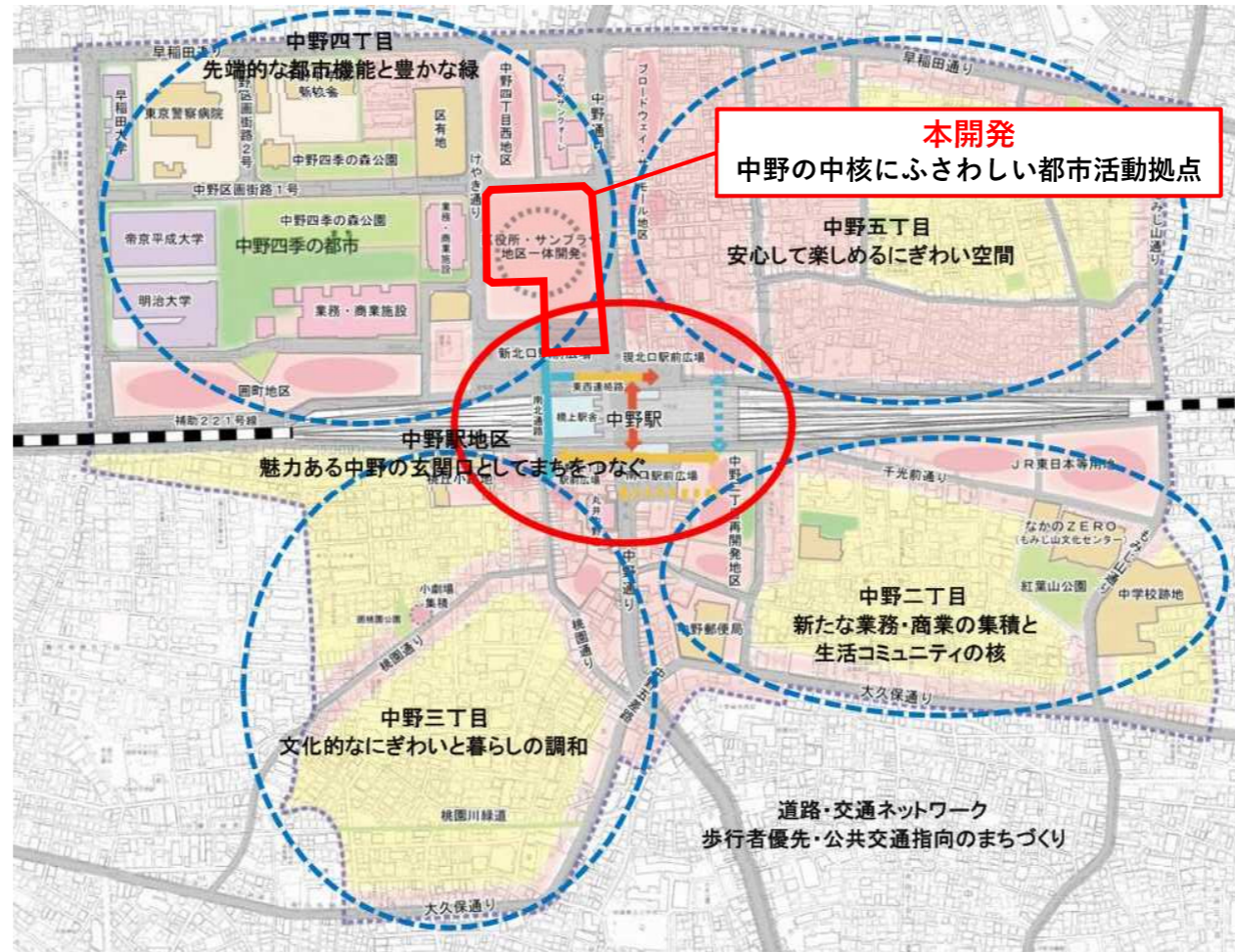
行政機能の更新 (中野区新庁舎)
 出典：中野区HP



大学機能の集積 (帝京平成大学他)
 出典：株式会社日本設計HP



道路整備と都市機能更新 (団町地区)
 出典：三井不動産株式会社HP



○中野五丁目：安心して楽しめるにぎわい空間



中野サンモール



中野ブロードウェイ

○中野駅地区：魅力ある中野の玄関口としてまちをつなぐ



中野駅新駅舎
 出典：中野区HP



中野駅西口広場
 出典：中野区HP

■本計画が果たす役割とコンセプト | 中野四丁目新北口地区地区計画 (H31.3)、中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画 (R2.1)

多様な都市機能の導入による、グローバル都市・中野の中核にふさわしい都市活動拠点の形成

1. 中野サンプラザのDNAを継承した、新たなシンボル拠点をつくる

2. 中野駅周辺の回遊性を高め、にぎわいと交流に満ちたまちをつくる

3. 未来に続く中野の活力・文化・暮らしをつくる

本計画：多様な都市機能の導入による、グローバル都市・中野の中核にふさわしい都市活動拠点の形成

1. 中野サンプラザのDNAを継承した、新たなシンボル拠点をつくる

中野のシンボルとなる
新たな文化・芸術等発信拠点の形成

- 文化・芸術等発信拠点の形成に向けた、多様な『メディア機能』『ラボ機能』による相乗効果
- メディア機能の核となる、中野サンプラザのブランドを継承する大規模ホール（最大7,000人収容）の整備
- 新たな「文化の聖地」としてのブランドを形成する、安定的で独自性の高い企画・運営体制

事業フェーズに応じ
地域とともに成長する
エリアマネジメントの取組

- 中野サンプラザ閉館前から始動し、継続的に展開するエリアマネジメント活動
- 中野サンプラザの機能を継承し拡張するエリアマネジメント施設の整備
- エリアマネジメント組織を立ち上げ、広場などのオープンスペースを積極活用
- 中野駅周辺エリアマネジメント協議会における中心としてエリアを牽引

2. 中野駅周辺の回遊性を高め、にぎわいと交流に満ちたまちをつくる

中野駅周辺の回遊性を高める
立体的な歩行者ネットワークの形成

- 周辺地区をバリアフリーでつなげる立体的な歩行者ネットワークの形成
- 建物と一体的な、地域のにぎわいと交流の場となる広場空間の整備
- 中野通りの交通環境改善および歩行環境向上への取組

3. 未来に続く中野の活力・文化・暮らしをつくる

地域の環境性・防災性向上に資する
多様な取組

- 環境負荷低減への多様な取組
- 中野駅前周辺の災害時業務継続地区（BCD）構築に向けた防災活動拠点の整備
- 周辺地区からの広域避難場所への避難動線と、大規模な一時滞在施設（約5,800㎡/約3,500人）の整備

地域の持続可能性を高める
多様な用途の導入

- 長期にわたり地域活力の向上につながる、多様なオフィス・レジデンス・商業・ホテル機能の導入
- 中野サンプラザのDNAを継承した、『シビックプライド』を育む展望（約3,900㎡）・コンベンション機能（約1,800㎡）の導入
- 子供の成長にあわせて利用できる、『子育て先進区』を発信する複合型子育て支援機能の導入

新たな中野のシンボルにふさわしい
街並み形成

- 本計画をトップとする中野駅周辺のまとまりのあるスカイラインの形成
- 周辺の緑と連続する立体的な緑の創出／地上のにぎわいが連続する街並みの創出
- 中野サンプラザのシンボル性を継承した夜間景観の形成

周辺への波及効果

中野のブランド価値向上と
国際競争力に資する新たな文化・経済活動の発展

多様なエリアの連携強化による
中野駅周辺全体の地域経済活性化、防災性向上

中野の次世代を担う多様な人材の集積

税収効果及び費用便益分析

- 税収効果評価の結果
供用開始して一定の年数が経ってから税収が区の負担額を上回り、税収効果が高い事業といえる
- 費用便益分析の結果
事業実施による総便益が当開発の総費用を超えており、経済効果が高い事業といえる

1.中野サンプラザのDNAを継承した、新たなシンボル拠点をつくる

中野のシンボルとなる新たな文化・芸術等発信拠点の形成

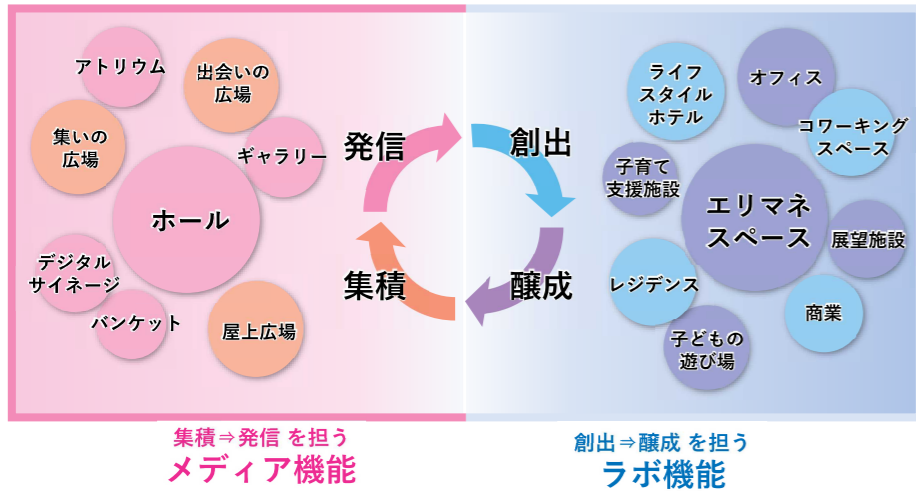
【中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画（R2.1）】

- 文化・芸術等発信拠点の整備・誘導方針
 - ・多目的ホールを中心に、その他の施設・機能を含めた施設全体により構成
- 多目的ホールの整備・誘導方針
 - ・ポピュラー音楽の公演を主用途とし、ブランドを継承
 - ・多様なイベントに対応できる、次世代の発信拠点
 - ・最大収容人数7千人程度（着席の場合5千人程度を想定）を上限
 - ・民間事業者による整備・所有・運営、安定的・継続的な施設経営

- 文化・芸術等発信拠点の形成に向けた、多様な『メディア機能』『ラボ機能』による相乗効果
- メディア機能の核となる、中野サンプラザのブランドを継承する大規模ホール（最大7,000人収容）の整備

➤ ■新たな「文化の聖地」としてのブランドを形成する、安定的で独自性の高い企画・運営体制

□文化・芸術等発信拠点形成のサイクルイメージ



■ホールの企画・運営イメージ

新たな「文化の聖地」としてのブランドを形成

ホール運営者

「中野ならではの」特徴ある分野の興行誘致（例）	
音楽	中野サンプラザのDNAである一流ポピュラー音楽
サブカルチャー	中野ブロードウェイや中野に根差したアニメ等に特徴づけられるサブカルチャー
スポーツ	区民との交流を重視した多様なアーバンスポーツ
地域文化	アールブリュットなどに特徴づけられる中野が世界に誇る地域文化

- ・国内外に強力なネットワークを持つ運営予定者により、独自性の高い興行誘致及びホールの高稼働を実現
- ・運営予定者のノウハウを活かした興行誘致により、一般的に低稼働が想定される平日の興行においても十分な集客が期待

■メディア機能の核：高い文化発信力を有する大規模ホール

○大規模ホールを中心とした文化・芸術等発信拠点



○臨場感と一体感を生む大規模ホール（最大7,000人収容）



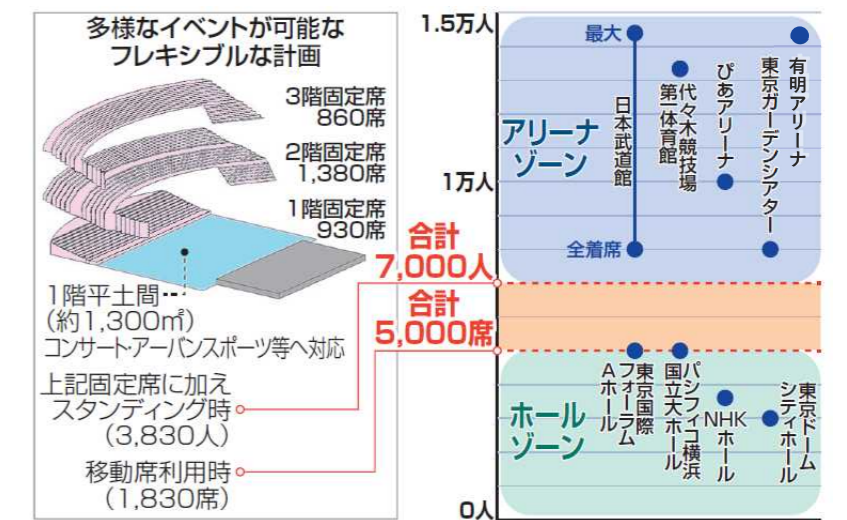
【観客、アーティスト双方に選ばれる競争力の高いホール計画】

- ・臨場感と一体感を生む扇形配置



- ・多様なイベントが可能なフレキシブルな客席

国内外一流アーティストの招致



勢いのあるアーティストの登竜門

1.中野サンプラザのDNAを継承した、新たなシンボル拠点をつくる

事業フェーズに応じ地域とともに成長するエリアマネジメントの取組

【中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画（R2.1）】

□エリアマネジメントの誘導方針

- ・計画段階から地域とともに育てていくため、民間事業者を中心としたエリアマネジメントの取組みを誘導
- ・プロモーション活動を行い、情報発信や期待醸成に取り組む

（竣工前）・中野サンプラザ閉館前から始動し、継続的に展開するエリアマネジメント活動

・中野サンプラザの機能を継承し拡張するエリマネ施設の整備

（竣工後）・エリマネ施設組織を立ち上げ、広場などのオープンスペースを積極活用

・中野駅周辺エリアマネジメント協議会における中心としてエリアを牽引

【フェーズ1】～サンプラザ解体着工

～中野サンプラザのDNAの継承・地域の開拓～

『さよなら中野サンプラザ音楽祭/感謝祭』を実行し、お別れの場を創出

実施済

全37公演・アーティスト200人以上
観客総動員60,000人以上



区内団体57組がオンステージ
観客総動員30,000人以上



クロージングセレモニーの実施



商店街との協創



レゴによる模型製作



『公共空間利活用』WS

実施済

新施設の広場のあり方を区民の方々や明治大学小林先生を交えて議論



写真家 西野壮平と取組む『フォトアーカイブ』

3万枚以上、中野サンプラザが使われている様子を撮影。写真をつなぎひとつの作品にし中野サンプラザを未来に継承。24年5月完成予定。



【フェーズ2】 工事期間中

～プロモーション・地域との協創～

『ローカルメディア』プロジェクト

言語化しにくい中野の魅力や新たな魅力を独自の切り口から発信。紙媒体を発行予定。



『仮囲いアート』プロジェクト

アールブリュットなど地域との協創を図り、身近にアートに触れる機会を創出



【フェーズ3】 竣工後～

【エリマネ施設を拠点とした本格稼働・周辺開発との活動連携】

『人材』×『場所』×『資金』による本格的な稼働

- 『人材』：事業者が立ち上げるエリマネ組織（一般社団法人）
- 『場所』：事業者が設けるエリマネ施設×多様な広場スペース
- 『資金』：事業者による事業性に応じた資金拠出



『地域協創』プロジェクト 『地域一体フェスティバル』

@ワーキングスペース
中野からの挑戦を支援する様々な機会を創出



@屋上広場

音楽祭の際に協創したように周辺商店街などと一緒に街全体で盛り上がるフェスティバルを実施



『生涯学習』プログラム
@子育て支援施設



『ヘブンアーティスト』（大道芸人公認制度）

@広場・デッキ

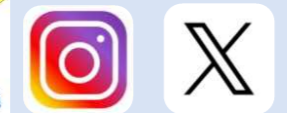
中野区民の音楽教育や才能育成に寄与する多様な文化に気軽に触れられる場を創出



WEBサイト、SNS公開によるファン作り



instagram X(旧twitter)



すでに合計でフォロワー約2,200人以上獲得済

クロージングムービーの製作と公開

実施済



感謝祭閉会式でも上映

インタラクティブな取組み実施



#サンプラザメモリーズによる区民と共に作るアーカイブ実施中

2.中野駅周辺の回遊性を高め、にぎわいと交流に満ちたまちをつくる

中野駅周辺の回遊性を高める立体的な歩行者ネットワークの形成

【中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画（R2.1）】

□歩行者動線の整備・誘導方針

- ・周辺地区をつなぎ、回遊性を高める面的な歩行者ネットワーク
- ・安全で円滑なユニバーサルデザインの歩行者動線確保
- ・居心地が良く、歩きたくなるまちなかづくり
- ・高低差を適切に処理
- ・居住者や来街者、通勤・通学者の動線の錯綜に配慮
- ・歩行者動線は、商業施設などと一体的にゆとりを持って配置

□広場空間の整備・誘導方針

- ・歩行者動線の結節点に広場空間を確保
- ・にぎわいと交流を創出する「集いの広場」
- ・まちのエントランスとして機能する「出会いの広場」

□立体道路の整備・誘導方針

- ・道路の上下空間を建築物として活用

■ 周辺地区をバリアフリーでつなげる立体的な歩行者ネットワークの形成

■ 建物と一体的な、地域のにぎわいと交流の場となる広場空間の整備

+

■ 中野通りの交通環境改善および歩行環境向上への取組

■中野駅周辺の回遊性を高める立体的な歩行者ネットワークの形成



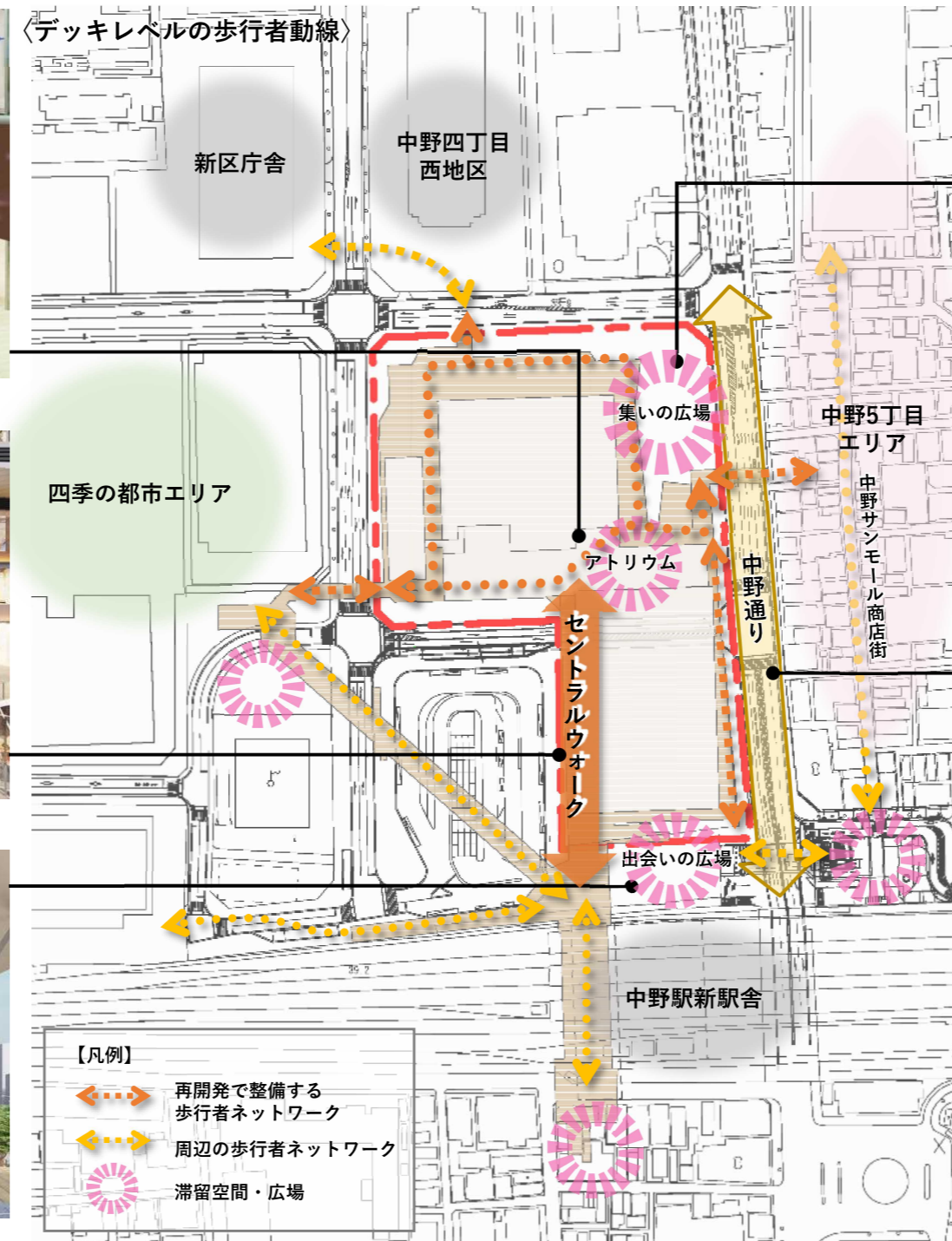
地上とデッキレベルをつなぎ立体的な「アトリウム（約800㎡）」



中野駅から地区内外へのアクセス動線「セントラルウォーク」



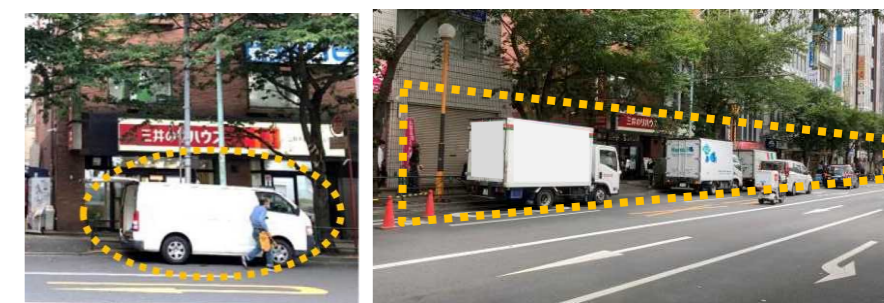
中野の玄関口となる「出会いの広場（約1,600㎡）」



新しい中野の中心となる「集いの広場（約3,500㎡）」

○中野通りの交通環境改善および安全・安心な歩行環境への取組

- ・現在の中野通りでは、商店街や路面店への荷捌き車両による路上駐車が多く、自動車交通および歩行者交通を阻害している
- ・本計画では、地域荷捌き駐車場を含む大規模な都市計画駐車場を整備し、民間による運営及び維持管理を行うことで、中野通りの交通環境改善および歩行環境向上に寄与する



計画地内の整備内容

- ・都市計画駐車場の整備
駐車場 約90台（地域荷捌き駐車場含む）
自動二輪駐車場 約80台
- ・公共駐輪場 約1,500台を整備

3. 未来に続く中野の活力・文化・暮らしをつくる

地域の環境性・防災性向上に資する多様な取組

【中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画（R2.1）】

- 環境性・防災性向上に資する施設・機能
 - ・都市の低炭素化に資する施設、機能
 - ・BCD構築のための自立分散型エネルギーシステム
 - ・みどりのネットワーク
 - ・地域防災力を高める施設、機能
 - ・情報収集・発信機能

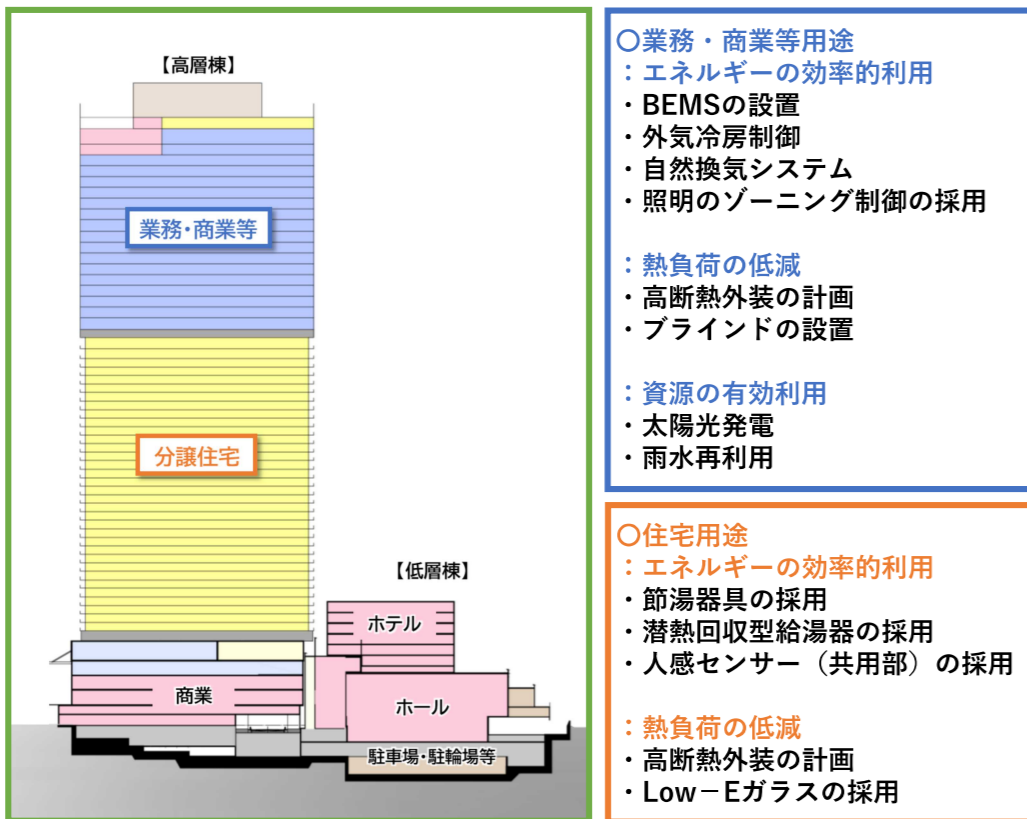
■ 環境負荷低減への多様な取組

■ 中野駅前周辺の災害時業務継続地区（BCD）構築に向けた防災活動拠点の整備

■ 周辺地区からの広域避難場所への避難動線と、大規模な一時滞在施設（約5,800㎡/約3,500人）の整備

■ 環境負荷低減への多様な取組イメージ

○ 高効率なCGS・設備機器の導入によるエネルギーの効率利用



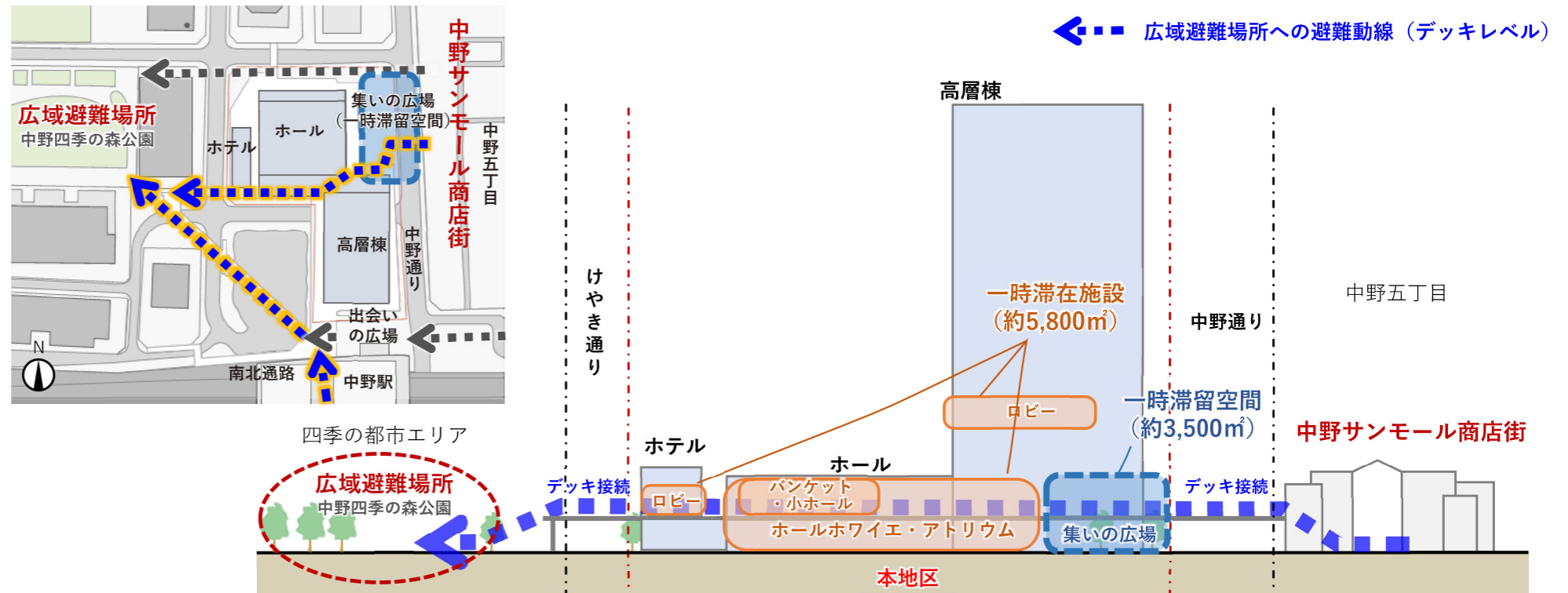
- 全体**
 : エネルギーの効率的利用
 ・ 高効率なコージェネレーションシステム（CGS）の導入
 ・ 複合用途を活かした地区内のエネルギー融通
 ・ LED照明
- : 熱負荷の低減**
 ・ 複層Low-eガラスの採用
 ・ 緑化（緑化率約35%）

○ 最高水準の環境性能（目標）

- ・ 住宅：ZEH-M Oriented
- ・ その他の用途（住宅以外）：ZEB Oriented

■ 中野駅前周辺の災害時業務継続地区（BCD）構築に向けた防災活動拠点の整備

○ 周辺地区からの広域避難場所への避難動線と、大規模な一時滞在施設（約5,800㎡）の整備



○ 地域の防災活動拠点として活用する一時滞留空間



○ 災害時の機能継続性を向上させる機能整備イメージ

- 建物の耐震性能向上**
- ・ 耐震性能「特級（Sグレード）」
 - ・ 建物被災度判定システムの導入
 - ・ EV自動復旧システム、耐震クラスSS（一部）

- 災害時復旧活動に資する機能整備**
- ・ 帰宅困難者の一時滞在施設の整備（面積合計：約5,800㎡/受入人数：約3,500人）
 - ・ 防災備蓄倉庫の整備（約90㎡、360名×3日分）
 - ・ 災害復旧活動を支える各種設備の整備
 - ・ 災害時の情報発信機能（サイネージ等）

※今後の行政協議により、計画内容に変更が生じる可能性があります。
 ※位置・規模等、運営主体・管理等の詳細については、今後の協議とします。

3. 未来に続く中野の活力・文化・暮らしをつくる

地域の持続可能性を高める多様な用途の導入

【中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画（R2.1）】

□持続可能性を高める用途構成や機能

- ・ 昼間人口（通勤・通学者等）、夜間人口（居住者等）、交流人口（来街者等）がバランスよく配置される用途構成

【主に昼間人口に寄与する施設・機能】

- ・ 競争力の高い大型のフロアプレートを有するオフィス
- ・ ビジネスの会合、交流に適した会議場

【主に夜間人口に寄与する施設・機能】

- ・ 職住近接を実現する高品質なレジデンス
- ・ 日々の生活をサポートする生活支援施設

【主に交流人口に寄与する施設・機能】

- ・ 中野サンプラザホールのDNAを継承する多目的ホール
- ・ 文化・芸術等発信の拠点形成に資する施設、機能
- ・ 新たなにぎわい軸を形成する商業施設
- ・ 会議や飲食を伴う交流などに適した宴会場
- ・ MICEや観光、交流の拠点となる上質なホテル

■ 長期にわたり地域活力の向上につながる、多様なオフィス・レジデンス・商業・ホテル機能の導入

■地域の持続可能性を高める多様な用途の導入

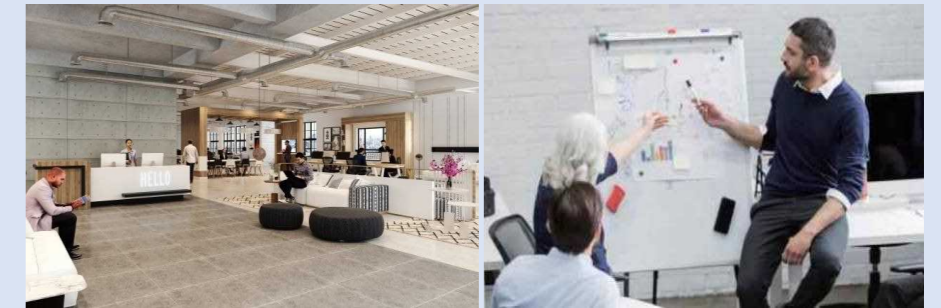


昼間人口

○グローバル企業とスタートアップいずれの誘致にも対応できるオフィス

（イメージ）

- ・ 大規模オフィスプレートによる大企業本社誘致
- ・ 分割利用による多様なオフィスニーズへの対応
- ・ 広場・多様なサードプレイス



オフィスのイメージ

夜間人口

○多世代の定住を促進するレジデンス

（イメージ）

- ・ 子育て世帯が暮らしやすいファミリー型タイプ
- ・ ライフステージの変化に対応できる多様な間取り
- ・ 長期に渡り健康で快適に暮らすための住環境整備（長期優良住宅等）



レジデンスのイメージ

交流人口

○駅前に新たな賑わいを創出する商業

（イメージ）

- ・ 地域住民の生活を支える生活利便施設
- ・ 駅のにぎわいをまちに波及させる商業施設
- ・ 中野独自の文化を感じられる多様な店舗



商業のイメージ

○まちのコンシェルジュとなるライフスタイルホテル

（イメージ）

- ・ 活動・交流の場となるホテルラウンジ
- ・ 中野の文化とのコラボレーションを通じた体験価値の提供



ホテルラウンジのイメージ

3. 未来に続く中野の活力・文化・暮らしをつくる

地域の持続可能性を高める多様な用途の導入

【中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画（R2.1）】

- ・中野サンプラザは、ホールで行われてきた音楽講演やイベントによって、ポピュラー音楽の発展や中野の文化醸成に寄与し、「中野サンプラザ」ブランドを確立
- ・会議場、宴会場などは区民や企業などの会合、交流の場として利用され、施設の外観とともに多くの人々に刻まれてきました

〈50年にわたり、区民が自由に使える中野サンプラザがつくってきたシーン〉

- 有名人や駆け出しアーティストの音楽ライブに行き、感動したり
- 家族の記念日に20Fで食事しながら話したり
- 同窓会やママ友の集まりで絆を深めあったり
- 会社の表彰、打ち合わせ、新年会で仲間と語らったり
- カルチャースクールで友だちを作ったり
- 友人とテニスや水泳、ボウリングで汗を流したり
- 放課後に楽器の練習をしたり
- 違う学校の子と意気投合してバンドを結成したり
- 結婚式を挙げ、家族を始めたり
- … etc.



■ 中野サンプラザのDNAを継承した、『シビックプライド』を育む展望（約3,900㎡）コンベンション機能（約1,800㎡）の導入

【中野区基本計画（R3.9）】

○子ども・子育て家庭にとって魅力的な環境の整備

子育て・子育て環境整備に関する区の現状や課題等を踏まえ、魅力ある公園や屋内施設の充実、子育て関連店舗や住宅の普及促進などに取り組み、ソフト・ハード両面から子ども・子育て家庭にとって魅力的な環境の整備を推進します。

○子どもの学びを地域全体で支える環境の整備

次の時代を創る子どもの学びを支えるため、学校・地域・民間事業者などの連携・協働により、地域全体で子どもの学習環境の充実に取り組み、子どもの学びを地域全体で支える環境の整備を推進します。

■ 子供の成長にあわせて利用できる、『子育て先進区』を発信する複合型子育て支援機能の導入

■ 『シビックプライド』を育む展望機能の導入イメージ

○サンプラザのDNAを継承する展望レストラン

- ・個室利用可能なレストラン
- ・ハレの日使いもできる展望レストラン
- ・音楽と食事と景色を融合させた、展望ライブレストラン

○中野区民が気軽に憩える屋外テラス

- ・東京西郊、唯一無二の眺望を楽しむ屋外テラス
- ・区民が気軽に憩えるロビー・テラス



屋外テラスのイメージ



展望レストランのイメージ



サンプラザのDNAを継承

■ 『子育て先進区』を発信する複合型子育て支援機能のイメージ

○子どもの屋内遊び場

- ・子育て世帯が安全・安心に利用できる屋内遊び場施設
- ・親子で眺望を楽しみながら過ごせる展望施設の設置

○子育て支援施設

- ・子どもが安心して過ごす居場所となる学童保育の場
- ・誰でも受けられる多種多様な教育コンテンツを提供
- ・ワークショップやイベントを通じた区の子育て情報の発信

○バンケット・コンベンションセンター

- ・中野サンプラザの区民交流機能を継承し、誰もが気軽に利用できる交流・発表の場
- ・地域の習い事の教室、練習場所
- ・発表会など地域の子どもたちの活躍の舞台

○子育て世帯向け商業施設

- ・低層部の商業施設内に、将来のニーズに応じたテナント誘致を検討



こどもの遊び場イメージ



コンベンションセンター（バンケット・小ホール）のイメージ



子育て支援施設イメージ

3. 未来に続く中野の活力・文化・暮らしをつくる

新たな中野のシンボルにふさわしい街並み形成

【中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画（R2.1）】

- ・新たな中野のシンボルにふさわしい建物デザイン
- ・ヒューマンスケールの視点による圧迫感の抑制や中野駅西側南北通路等からの見通し、周辺建物との調和に配慮
- ・周辺地区とつながるみどりのネットワークやストリートファニチャーなどにより、快適に過ごせる質の高い都市環境を創出

中野サンプラザのシンボル性継承



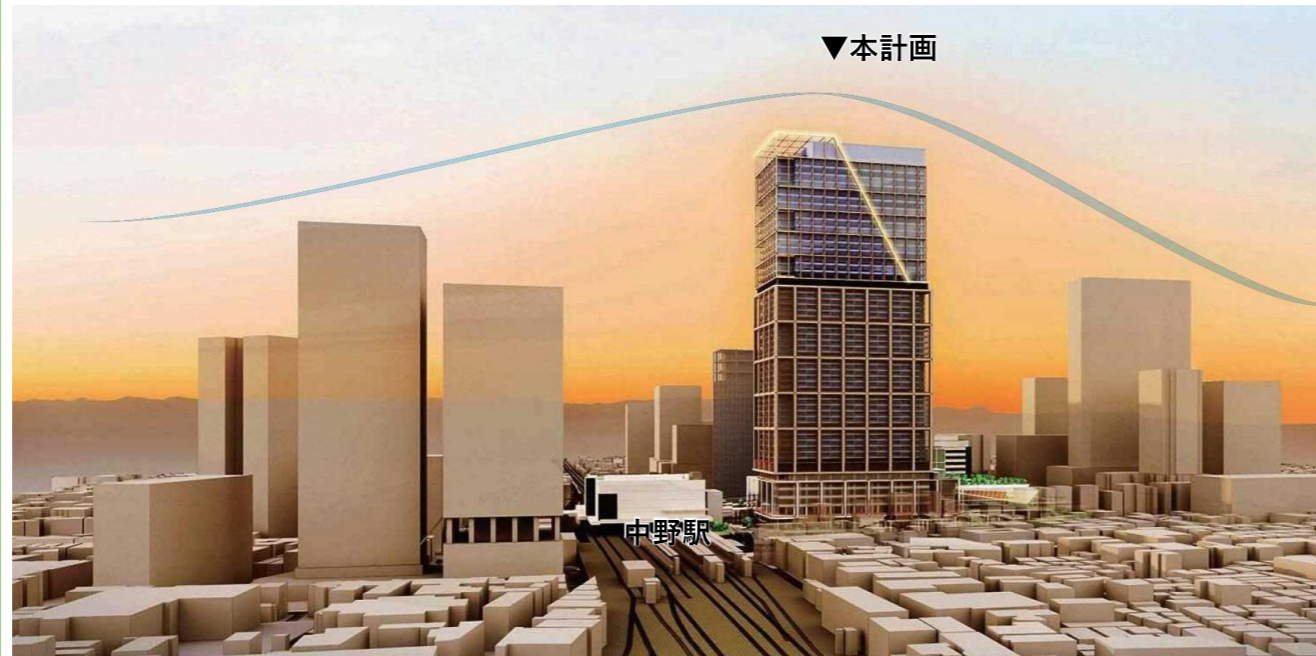
出典：株式会社日建設計HP



中野サンプラザの三角形を継承した外装デザイン

遠景

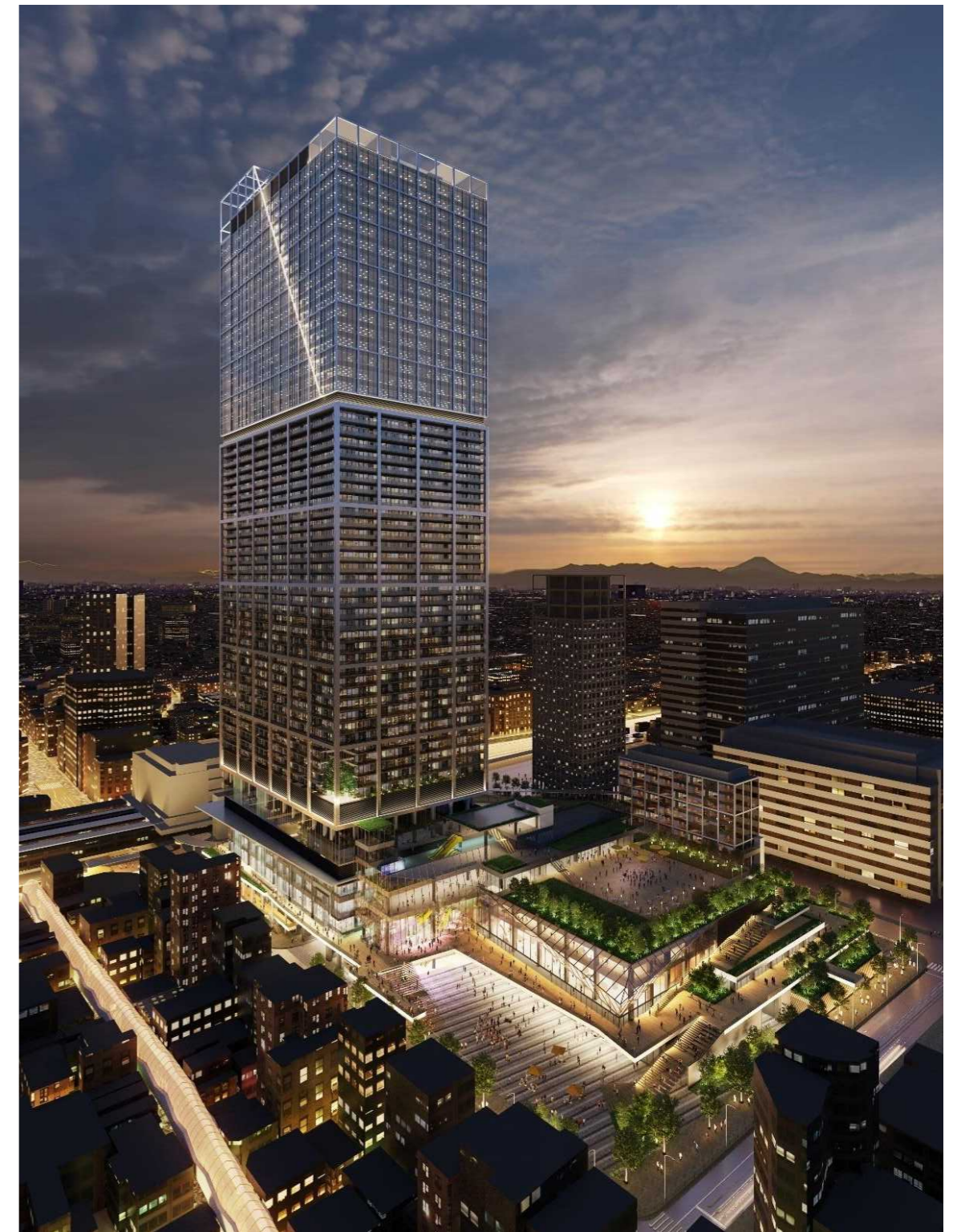
本計画をトップとする中野駅周辺のまとまりのあるスカイラインの形成



本計画をトップとする中野駅周辺のまとまりのあるスカイラインのイメージ（東側より）

夜景

中野サンプラザのシンボル性を継承した夜間景観の形成



中野サンプラザのシンボル性を継承した夜間景観イメージ（北東側より）

中景

周辺の緑と連続する立体的な緑の創出／地上のにぎわいが連続する街並みの創出



立体的な緑の創出イメージ（新区庁舎前の交差点より）



にぎわいが連続する街並みイメージ（中野通り沿道）